

1. 調査報告概要表

作成日 平成 22年 3月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3471504351
法人名	有限会社 日野企画
事業所名	グループホーム プリムローズ草戸
所在地	広島県福山市草戸町五丁目10 - 11 (電 話) 084 - 954 - 5575

評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南町四丁目46 - 9
訪問調査日	平成22年3月6日

【情報提供票より】(22 年 2 月 22 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 8.5 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	有(50,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 50,000 無	有りの場合 償却の有無	有 1 年	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,250 円		

(4) 利用者の概要(2 月 22 日現在)

利用者人数	8 名	男性	4 名	女性	4 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 78 歳	最低 66 歳	最高 98 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山陽病院、日野デンタルクリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街の中にある平屋建ての建物である。住宅街とはいえ、敷地内には菜園があり、ウッドデッキから畑へ出て、草花や野菜の手入れもできる。管理者はじめ、職員は家庭的な雰囲気での介護をされており、入居者はゆったりと生活して居られる。また、毎日のレクリエーションや散歩、季節の行事など潤いのある暮らしの工夫をされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	一人ひとりの個性を尊重され、家庭的な生活が送れるよう、「気遣い」「気配り」「気働き」に努力されている様子が窺える。さらに向上されるよう期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部研修は順番に行き ミーティングの時研修報告を行って、職員全員の資質の向上を目指している。全員が、自己評価に取り組んで、サービス向上に努められている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は町内会会長、老人会会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族代表、ホーム理事、管理者が出席し2カ月に1回開催している。外部の情報を得ると同時に、ホーム運営について助言を頂いたり、理解を深める上で大変有効に機能している。今年度は中学2年の男子1名(例年2~3名)を職場体験で受け入れた。体験した生徒たちが将来ホームの支援者となることを期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族は概ね、ホームの運営に満足して居られ、ホームとの意思の疎通も十分されているようである。家族は面会時の様子しか分らないので、具体的な日常生活をよく話し、伝えることでさらに安心感を増幅されることが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	季節の行事、初詣、花見、敬老会、お楽しみ会(誕生会)、クリスマス会等々、施設の行事のほか町内の盆踊り、夏・秋まつりに参加して居られる。また、ホーム主催のバザーには町内からも多数参加され、ばたもち、おでん、うどん、甘酒なども好評である。特に、本年は5周年なので盛大に実施されるようだ。こうした、親密な交流が一層発展しホームの応援団となって貰えることが期待される。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりが個性を尊重され、家庭的な生活を送れるよう、行き届いたケアを行う。「気遣い」「気配り」「気働き」を注意しながらよりよい環境作りを目指す。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所に掲示し、ミーティング時に唱和し、常に心がけるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会へ加入し、町内の行事や掃除などにも参加している。ホームの実施するバザーは、町内会の回覧板で案内して貰い大勢の方に参加して頂いている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果は全員に知らせ、改善するところ不十分なところを検討しサービスの向上につなげている。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会会長、老人会会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族代表に出席して頂き、ホームの理事、管理者、ケアマネが加わり、2カ月に1回開催している。会議では、介護に関する意見のほか地域の情報が得られサービス向上に役立てている。		

グループホーム プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、地域包括会議に出席することにより、他の事業所や行政の福祉担当者と情報交換している。この会議では研修も行われ、サービス向上に役立っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回「プリムローズ草戸だより」を配布してホームの様子を伝えている。		ホームでは日々の暮らしのほか、多彩な行事が実施されている。また、22年度は5周年記念の行事が予定されているとのこと。これらの様子を口頭で伝えることはなかなか難しい。個人情報に配慮した上であるが、写真を活用し具体的で、豊富な情報提供が期待される。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設け、ホーム内へも意見箱を設置している。毎月の経費の支払いを振込でなく持参して頂いている。持参は家族の負担になる面もあるが、家族に入居者の暮らしの様子を見て貰う上でとても効果的である。また、その機会に家族の意見、不満、心配など職員が聞くことができ、サービス向上に役立っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職者は、開所以来、病気退職1名のみである。後任は経験者を採用し出来るだけ、入居者に負担がないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加、参加者の報告を兼ねた内部研修、ミーティングにおけるミニ研修等を行っている。		よく、研修されており、ホームでのサービス向上のための研修ではあるが、折角なので資格取得などの目標も併せて研修することにより、一層意欲が増すことが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管内のグループホームで持ち回りの勉強会を実施している。職員のほか医師も参加され、緊急時の対応など指導して頂いている。毎月の包括会議は情報交換に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居直後には出来るだけ面会回数を多くして頂き、早くホームに慣れて頂くよう取り組んでいる。衣替えのシャツなど持参して貰い訪問の機会を増やす。時にお金の心配をされる方がいるが、お金の心配はしなくていいとよく説明するようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>在宅時にできていた、テーブルを拭く、お茶碗を洗うなどの炊事、洗濯物を干す、ハンガーに掛ける、タオルをたたむ、など出来ることをして頂きながら、本人と話し合うよう心がけている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>「冷え性なので電気毛布の温度設定を守って欲しい。」「装具の装着についての要望」など細かく聞くようにしている。また、本人とのコミュニケーションを多く取るよう心がけている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向を取り入れて計画を作成している。徘徊や「帰りたい」意向の強い方には散歩の回数を増やすなど工夫している。精神的安定やレクなどに配慮している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的カンファレンス・モニタリングを行い計画の変更・見直しを行っている。縫物や編み物など、昔好きで出来たことが今は出来ないことがある。よく話し合い、現状に即した計画を立てるよう努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院の介助をしたり、家族が来訪できない時、逆に家族を訪問して面会の機会を作ることもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院から、内科の医師に2週間に1回の割で往診して頂いているが、家族の希望により、入居前の病院で診療される場合、通院の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	出来ること出来ないことを明確にし、主治医の指示に従える範囲で支援している。現在は終末期の対応はしていない。		重度化や終末期の対応について更に検討されることを期待する。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報などの書類は施錠できるロッカーで保管している。尿漏れ等、座布団が濡れている時は本人を傷つけないよう配慮して着替えをしている。また、異性の介護者を嫌われる場合、交代して介助する。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間以外は、本人のペースで過ごされるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食と夕食の食材は、食材会社から購入している。これまで入居者に不評だった献立やお楽しみ会(誕生会)など特別メニューの日は購入をやめ、お寿司など別途購入している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3日ずつ、男性と女性に分けて入浴しているが、希望者は毎日入浴することもできる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る範囲で、洗濯物を畳んだり、テーブルを拭いたり、自分の役割として行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	全ての希望をかなえることは難しいが、暖かい日にはドライブに出かけるなど出来るだけ外出の機会を増やしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ、施錠し日中は施錠しない。入居者が外出しそうな様子をした時はさりげなく声をかけたり、一緒についていく。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回実施しており、うち1回は消防署に参加して頂いてる。各居室・廊下に家庭用防災用ブザーを設置しているが、自動警報機への変更を検討している。		自動警報機への変更を早期に実施察る事を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾病による制限を守り、一人ひとりの食事量・水分摂取を把握している。食事介助のいる方には、丁寧に飲み込みを確認しながら介助されており、全くこぼすことなくきれいに食べられた。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	バリアフリーで車いすの方も自由に移動ができ、採光もよい。入居者同士の触れ合いの場としても快適に過ごせる広い空間になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた日用品などが持ち込まれ、自分の居場所として安心して過ごされている。		